

平成30年3月5日
県庁11階講堂

徳島県警察官・警察事務採用説明会（管理官挨拶）

皆さん、こんにちは。

本日は、徳島県警察の警察官・警察事務職員の採用説明会にご参加をいただき、ありがとうございます。

警察本部で採用などを担当している警務課の船本佳輝と申します。

私は、警察官になって33年、現在、51歳です。

よろしく願いいたします。

私からは、警察の仕事のことや県警察が求める人材像についてお話をさせていただきます。

はじめに、「警察の仕事とは」どんなものか・・・。

皆さんもまず頭に浮かぶと思いますが、「悪いことをした犯人を捕まえる。」のが、まさに警察の仕事だと言えます。しかし、もちろんそれだけではありません。

警察は、殺人・強盗などの凶悪犯罪や児童虐待、DV、ストーカーなどの様々な犯罪に対処していますが、これらの犯人を捕まえるだけでなく、パトロールや街頭監視をしたりして、犯罪や事故を未然に防ぐ活動も行っています。また、地震や台風などの自然災害への対処など、幅広い活動に取り組んでいるのが実際です。

こうした活動により、県民の方々が安全で安心に暮らせる社会の実現を目指しているのです。

一言で表現するならば、「県民を守る！」というのが警察の仕事と言えるでしょう。

世間を震撼させる凶悪犯を逮捕すれば、社会に安心を与えることができます。また、落とし物や盗まれた自転車を発見し、これを所有者の方にお返しすることで、直接、「ありがとう。」という感謝の言葉をいただけることもあります。

警察の仕事は、このような感謝の言葉をいただくことで、大きな充実感や達成感を得ることのできる、魅力のある仕事だと思っています。

実際に、警察職員がどのような感謝の言葉をいただいているのか、一例を紹介したいと思います。

これは、飲酒運転による交通事故で、当時16歳の高校生であった息子さんを亡くされ、飲酒運転の撲滅運動をされておられる、被害者遺族の山本さんという方のお言葉です。原文のまま、その一部を紹介します。

交通課のおまわりさん達は、「困ったことがあったら何でも言いに来てね。ひとりで悩んだらあかんよ。」と、いつも声を掛けてくれました。インターネットの書き込みがひどくなってきたため、警察署に相談に行くと、仕事の手を止めて、私の周りにやって来てくれました。「山本さん悔しいね。本当に悲しいね。」と声を掛けてくれました。今でも、警察の方に優しくしてもらった思い出がよみがえるのです。

被害者遺族というのは、心が本当に敏感です。たった一言で地獄のどん底に突き落とされ、怒りと苦しみに変わる、そんな一言があります。でも、それを上回るくらいの優しい一言で、明日を笑顔で生きていけるのです。そんな一言が多ければ多いほど、遺族はその後、きちんと生きて行くことができるのです。

このように山本さんは、警察官からの一言、支え、があったことを話されています。

警察職員は、多くの被害者や困っている人と直接向き合っています。困っている人、悲しんでいる人を助け、寄り添うことで、県民の皆さんから感謝の言葉をいただく・・・、警察職員は、ここにやりがいを感じ、また、誇りをもって仕事をしているのだと思います。

次に、「県警察が求める人材像」についてお話しをいたします。

徳島県警察では、様々なタイプの個性豊かな人材を求めています。

もちろん、警察職員となる訳ですから、「ルールを守る」というのは当然ですが、これ以外に私が大切だと考えているのは、「人が好きかどうか?!」ということです。

警察の仕事の相手方は「人」です。事件、事故、もめ事など、様々な現場で当事者と直接向き合い、接していく仕事です。「コミュニケーションが苦手」という人では、正直難しいかな?というのが本音です。

「人が好きかどうか?」は、チームワークという点でも重要になってきます。警察の仕事は、チームで対処するものが、ほとんどで、一緒に仕事をするメンバーの信頼関係がなければ、何事もうまくいきません。

今日、こうして、この説明会に取り組んでいる、私を含めた警察職員達も一つのチームです。

一緒に仕事をする人を好きになり、周囲の信頼を得ながら、しっかりと人間関係を作れる人は、警察職員として、その能力を発揮できると思います。

これまでお話しをしてきた、「県民を守る!」、「凶悪犯を捕まえる!」、「人が好きだ!」などの、県警察が求める人材像を聞いて、ひょっとすると「今の自分で大丈夫か?」と不安を感じている方がおいでるかもしれませんが・・・、それは、大丈夫です。

現在、徳島県警察で働いている警察職員の中で、その採用の前から十分な知識や技能を持ち合わせていた者は、もちろん私も含めて、誰一人としていません。

採用後は、警察学校に入校して、一から、必要な知識や技能を身につける研修を受けることとなります。

このように、実際に現場に出るまでの研修制度が充実しているのも、警察の大きな特徴の一つですので、心配はありません。

はじめに自己紹介をさせて頂いたとおり、私は警察官になって33年となりますが、これまでお話しをしてきたように、警察の仕事には、他の職業にはない魅力があります。私自身、本当に警察官になってよかったと、今でも強く感じています。

しかし、私は51歳。

これからは、皆さんの若く新しい力が徳島県の治安を維持していく上では、絶対に必要です。

そして、近い将来、皆さんと、「安全で安心に暮らせる社会の実現」を目指して、一緒に仕事のできる日を、私は、待ち望んでいます。

そのためには、皆さんに、徳島県警察官・警察事務職員の採用試験に是非、チャレンジをしていただき、これを突破してほしいと思っています。

本日は、皆さんにとって有意義な説明会となるよう、この後続く、私のチームメイトである若手警察職員も、一生懸命に取り組みますので、どうか最後までよろしく願いいたします。

私からは以上です。